

令和4年度第1回 ハイス こづち運営推進会議報告書

開催日時	令和4年4月25日（月） 14時～15時00分
開催場所	ハイス こづち相談室
出席者 合計 8名	地域代表2名、学識経験者1名、家族代表1名、包括支援センター職員1名、事務局3名
<p>1 定足数の確認 「ハイス こづち運営推進会議設置要綱」5（2）に則り、過半数を満たしているため開催する。</p> <p>2 委嘱状交付 令和4年4月1日より、大槌町役場健康福祉課健康長寿班長に委嘱。</p> <p>3 開会 （事務局）新年度最初の運営推進会議の開催。今年度も様々な意見を賜りますようよろしくお願ひしたい。</p> <p>4 報告（ハイスこづち管理者）</p> <p>① 状況報告 資料（次第）の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月は新規利用者の受け入れなし。1月に利用を終了された方2名、入院された方2名の影響により、全体的に利用回数が減少した。また利用終了者の中に、訪問サービスを多く利用された方もおり、訪問の回数も減少した。（新規利用者数0名、登録者数19名、実利用者数18名、通い利用回数200回、訪問利用回数27回、泊まり利用回数61回、登録率65%） ・3月は入院された方2名が退院し、利用を再開したことにより利用回数が増えた。また、新規利用の相談が2件あり、内1件は契約となり4月から利用開始している。（新規利用者数0名、登録者数19名、実利用者数19名、通い利用回数271回、訪問利用回数35回、泊まり利用回数85回、登録率65%） ・介護度の割合について（令和4年3月現在） 要支援1…3名 要支援2…1名 要介護1…5名 要介護2…6名 要介護3…3名 要介護4…1名 要介護5…なし <p>○意見 特になし。</p> <p>② 施設内の事故・ヒヤリハットについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今期間には、ヒヤリハット・事故報告はなし。 ・ハイスには畳の居室があり、靴下を履いている歩行では滑る可能性もあるため、付き添い介助を行い転倒などが発生しないよう注意をしている。 	

○意見 特になし。

③ 主な行事・レク活動について

2月

・節分 ボーリングと鬼退治を組み合わせたゲームと、実際の豆まきを実施。普段ボーリングで使用するピンを鬼仕様に変えたゲームで、利用者も力が入っていた。豆まきでは男性利用者が多いときは、鬼もたまたらず玄関から逃げていった。

・夜間想定消防訓練 夜間職員1名による消防訓練と、水消火器による消火訓練を実施。

3月

・ひな祭り 今年も7段の雛人形を設置した。飾りつけは利用者と一緒に実施。昨年はホール内に展示することができたが、昨年よりも利用者が増えたことにより、和室に飾り記念撮影を行った。

※夜間想定消防訓練について 別紙資料1参照

・総評、課題について 火災発見・初期消火・通報・利用者(2名)の避難誘導はおおむねスムーズに実施できた。完了までにかかった時間は3分54秒。利用者は付き添い介助にて安全に避難できた。通報では、前回と同様の自動火災通報専用電話を使用した。前回、消防署からのコールバックを受信しなかったことにより、外部職員への自動音声発信が遅れてしまったことを踏まえて、今回は消防署からのコールバックを受信し対応した。しかし、受信対応により利用者の避難誘導が若干遅れてしまった。今後の消防訓練では、自動火災通報専用電話による通報が良いのか、携帯電話を使用した通報が良いのか検討したい。

○意見 (地域代表者) 救急対応の際にも、消防からの状況確認はある。消防も適切な対応をするためには、電話での状況確認は必須だと思う。また、非常事態に直面すればパニックになり、対応が難しくなる可能性があるため、冷静な対応が可能になるように訓練の回数を増やす必要があると思う。

(事務局) ハイス周辺にお住いの方にも、消防訓練の存在を知っていただく必要もあるのでは。

5 外部評価について 別紙資料2・資料3参照

(管理者) 今回の運営推進会議から令和3年度の外部評価を開始する。運営推進委員に令和3年度のハイス職員による事業所自己評価シートと、地域かかわりシートを配布し、地域かかわりシートに意見の記入をお願いする。次回の運営推進会議で、運営推進委員から地域かかわりシートについてのご意見をいただきたい。

○意見 (地域代表) 地域活動(草刈り)に、ハイス職員も参加し協力していただいたことは知っており、感謝している。また、新春イベントの参加案内も出したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加が叶わなかったことは残念であった。

(地域代表) 今年の草刈りの際には、社会福祉協議会やハイスこづちのPRのためにも分かりやすい服装で参加するのが良いと思う。

(地域代表) 地域密着型の施設なので、地域活動の情報を伝えたい。

(事務局) 事業所自己評価シートの様式は見やすいように変更はできないのか。

→様式の内容を変更することは難しいが、文字の大きさなどは変更可能だと思われる。

6 その他

○意見 (地域代表) 主な行事の中の鬼退治ボーリングとはどのようなレクリエーションなのか教えてほしい。

→普段のボーリングの道具に鬼の絵柄を貼りつけたもので、鬼の絵柄は利用者に作成していただいたもの。レクリエーション担当職員も、レクの内容がマンネリ化しないよう工夫をしている。

(家族代表) 地域かかわりシートの回答について答え方が難しい。はい、いいだけでは分からないことも多く、補足の説明が必要だと思う。

→次回の運営推進会議では、地域かかわりシートについては、補足説明も加えながら進行していく。

・お知らせ(管理者)

足湯の機械が配備されたので、今後利用方法を検討していく。

・次回開催予定日 令和4年6月下旬 14:00~(予定) ※後日、開催日程を調整する。

7 閉会

令和4年度第2回 ハイス こづち運営推進会議報告書

開催日時	令和4年6月27日（月） 14時～15時00分
開催場所	ハイス こづち相談室
出席者 合計 7名	地域代表1名、学識経験者1名、家族代表1名、包括支援センター職員1名、事務局3名
<p>1 定足数の確認</p> <p>「ハイス こづち運営推進会議設置要綱」5（2）に則り、過半数を満たしているため開催する。</p> <p>2 開会</p> <p>（事務局）新型コロナウイルス感染症予防の継続、気候が変わり暑さへの対策等を実施し、利用者及び職員の体調管理に気を配りながら運営していきたい。</p> <p>3 報告（ハイス こづち管理者）</p> <p>① 状況報告</p> <p>資料（次第）の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月は新規利用者1名（要支援1）を受け入れている。近隣にお住まいの方で、週1回の利用を開始している。（新規利用者数1名、登録者数20名、実利用者数20名、通い利用回数254回、訪問利用回数45回、泊まり利用回数72回、登録率68%） ・5月は新規利用者の受け入れはなし。利用相談が1件あり契約となる。6月から体調を考慮し、週1回から利用開始。今後は利用回数を増やす予定。また、利用終了者が2名あり、他施設への入所が決定し利用終了となる。入所施設を希望されている方は、サービス利用回数も多い為、利用終了により全体のサービス利用回数の減少につながっている。訪問利用回数が先月より減少しているが、訪問を利用される方が、泊まりを利用したことによる減少である。（新規利用者数0名、登録者数20名、実利用者数20名、通い利用回数262回、訪問利用回数29回、泊まり利用回数93回、登録率68%） ・介護度の割合について（令和4年5月現在） <p style="margin-left: 20px;">要支援 1…4名 要支援 2…1名 要介護 1…5名 要介護 2…6名 要介護 3…3名 要介護 4…1名 要介護 5…なし</p> <p>○意見 特になし。</p> <p>② 施設内の事故・ヒヤリハットについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告 1件 服薬について（昼食薬配備時に発見） ・事故報告 1件 服薬について（昼食後の服薬忘れ） <p>○意見 （地域代表） ヒヤリハットの事例について 人は間違えることがある為、看護師および他介護職員での二重チェックによる複数の確認があることで間違いを減らすことはできると思う。</p>	

(事務局) 配備時のチェックについてももう少し工夫が必要ではないか。職員の服薬についての意識も高めてほしい。また、社協には他の事業所もある為、他事業所の配備方法を確認し共有してもよいのでは。

(学識経験者) 配備する場所について、職員が分かりやすいような場所に配備していないのか。

(管理者) 再発防止策を講じていた中で、発生したことは重く受け止めている。現在も配備については二重チェックを実施し、服薬の直前にも再確認し服薬するように努めている。

③ 主な行事・レク活動について

4月

・お花見ドライブ 今年度のお花見コースは吉里吉里駅、城山公園。利用者は見事に咲いた桜に満足されていた。

5月

・鯉のぼりリース作り 今年度は創作活動も実施していきたい。利用者にデザインを考えて頂き貼り付けて完成。完成後はホール内に展示した。

○意見 特になし。

4 外部評価について

(管理者) 今回の運営推進会議では、前回配布した「地域かかわりシート」や事業所自己評価をもとに、運営推進委員よりチェックしていただいた項目の集計とご意見を頂きたい。なお、地域かかわりシートは集計を実施するため会議最後に回収し、次回の運営推進会議にて令和3年度の評価の総括を報告する。

A. 事業所自己評価の確認

○意見 (地域代表、学識経験者) 前回の改善計画についても、職員はしっかりと実施出来ていると思う。

(地域代表) 利用者へのサービスについてもPDCAサイクルにより評価や改善点を見出すことが出来ていると思う。

B. 事業所のしつらえ・環境

○意見 (地域代表) 建物周辺も環境が整備されている。開所してまだ間もない為、環境はきれいである。事業所は普段からカギをかけているかは分からない。

(管理者) 事業所のカギについては、夜間帯以外はカギをかけることはない。

C. 事業所と地域のかかわり

○意見 (地域代表) 6/19(日)に実施した環境整備作業(草刈り)に社協職員も参加していたことは把握している。7/24(日)にも開催し、ハイス周辺の草刈りを実施予定。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み

○意見 (地域代表) 自治会の役員会は3ヶ月に1回の頻度で開催している。なお、地域のお茶っこの会は日曜日に開催しており、コロナ禍で開催が難しかったカラオケの会も先週から開催

している。地域のイベントスケジュールについては、月一回発行の広報に差し込んでい
る。

(学識経験者) 広報をハイスにも配布してもらえるよう行政連絡員に伝える。

(管理者) 地域で開催しているイベントについて、情報が少なく把握できていないことが多
かったため、地域活動の把握が容易になる広報の配布はありがたい。

E. 運営推進会議を活かした取組み

○意見 (学識経験者) 震災後に出来た新しい地域の為、ご近所周辺以外は誰が住んでいるか分から
ない。

(地域代表) 以前社協で実施した「地域支え合いマップ」の活動が良かった為、今後も長い
目で地域活動の役に立つと思う。

F. 事業所の防災・災害対策

○意見 (管理者) 地域では土砂災害対応の訓練は実施しているか。実施が予定されているならば、
対象の地域や開催方法を知りたい。

(地域代表) 何年か前に土砂災害を想定した訓練を実施したが、現在は11月に津波対策の
避難訓練のみ実施している。避難所は伝承館になっている。

(地域代表) 津波時の避難所については、地域住民も知っておく必要があり、ハイスの職員
もいざという時の避難所は把握しておく必要があると思う。

(事務局) ハイス こづちは指定避難所ではないが、地域の方が避難してくることは想定さ
れる。受け入れの可否については、その時の状況により対応せざるを得ないと考えられ
る。

5 その他

・お知らせ (管理者)

- ・令和4年度 七夕飾りつけイベントを開催。対象地域はハイス周辺にお住いの約15世帯
に短冊を配布予定。
- ・令和4年度 第1回 消防訓練を8月に実施予定。今回の消防訓練では、ハイス周辺にお
住いの方に、水消火器訓練を体験できる企画を検討している。
- ・足湯について 6月にハイスの利用者を対象とした足湯を開催。開催にあたり、色々と問
題点も見えてきている。地域活動にどのように利用できるか検討していきたい。

○意見 (地域代表、学識経験者) 足湯の活用法については、焦らずに検討した方が良いと思う。

- ・次回開催予定日 令和4年8月下旬 14:00～(予定) ※後日、開催日程を調整する。

6 閉会

令和4年度第3回 ハイス こづち運営推進会議報告書

開催日時	令和4年8月29日(月) 14時00分～15時00分
開催場所	ハイス こづち相談室
出席者 合計 7名	地域代表1名、学識経験者1名、家族代表1名、包括支援センター職員1名、事務局3名
<p>1 定足数の確認</p> <p>「ハイス こづち運営推進会議設置要綱」5(2)に則り、過半数を満たしているため開催する。</p> <p>2 開会</p> <p>(事務局) 新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきている。また、夏季に比べ気温が下がってきているため、委員の皆様も風邪などひかないよう体調に気を付けて過ごしていただきたい。本日もご意見等お願いしたい。</p> <p>3 報告(ハイス こづち管理者)</p> <p>① 状況報告 (令和4年6月～令和4年7月)</p> <p>資料(次第)の通り。</p> <ul style="list-style-type: none">・6月は新規利用者1名(要介護3)を受け入れている。居宅事業所より紹介があった方で、退院後に利用開始となる。体調を考慮し週1回から利用開始。体調が安定し、利用にも慣れてきた場合には利用回数を増やしていく予定。利用終了者は2名。2名とも他施設への入所が決定し利用終了。4、5月と比較すると利用回数が減少している。・7月は新規利用者1名(要介護1)を受け入れている。月途中から利用開始。8月の利用から泊まりを利用される予定の方で、ハイスの利用に慣れていただくため週2回からの利用開始。入院者は1名。8月に入り、入院先から他施設への入所が決定し利用終了となる。・今期間は利用者の受け入れ、終了と変動が多い期間だった。介護度の更新により要支援から要介護になる方もいた。 <p>○意見 特になし。</p> <p>② 事故、ヒヤリハットの報告について</p> <ul style="list-style-type: none">・今期間はなし。新規利用者の受け入れや、利用者の動きも多いことから、引き続き事故等が発生しないよう注意し、利用者のケアにあたりたい。 <p>○意見 特になし。</p> <p>③ 主な行事、レク活動の紹介</p>	

- ・利用者を対象とした足湯の実施。→利用者には大変好評だったが、課題もあった。
- ・家庭菜園（ミニトマト）→現在は収穫時期で、収穫した物は利用者へ提供している。
- ・七夕飾り付けイベント→地域の方に短冊を配布。3件の参加あり。今後は、地域福祉課と連携したイベントができればと考えている。

○意見 足湯実施についての課題とは？

（管理者）利用者、地域住民合同での足湯は、利用者対応による職員体制が不十分である。足湯の準備については手順書があるため、難しくはない。

4 協議

- ・令和3年度 外部評価について～ハイス こづちサービス評価総括表の説明～資料の通り。

○意見

（地域代表）津波発生時の避難場所は指定されているが、大雨・洪水時の避難場所の指定は現在もなく、町に要望を出している。比較的大きい大槌病院が良いと思うが。

（地域代表）広報の他に、自治会だよりも発行しているので届けたいと考えている。

（管理者）現在の避難場所は中央公民館となっている。

（包括）地域の気になる方についての情報交換について、個人情報等があるので運営推進会議の場で話し合うというよりは、包括への情報提供のみとし、次回の会議で報告という流れが良いのではないかと。

（管理者）運営推進会議が、個人情報を考慮しつつ包括につなげる場として活用していただければと思う。

（地域代表）自己評価で地域にどんな方が住んでいるか分からないと意見があったが、新興住宅地のため、私たちも把握できていないことが多く、把握には時間がかかる。

（管理者）外部評価の総括について 年度と外部評価の期間にずれが生じていることから、年度内の評価に合わせていきたい。

（事務局）外部評価の年度に合わせた評価については、今後検討していきたい。

（地域代表他）事務局に一任する。

5 その他

- ・ハイス こづち運営推進委員の任期満了に伴う改選について

（事務局）運営推進会議設置要綱に基づき進めていきたい。再任の場合にはご協力の程お願いしたい。

- ・次回の開催予定について

→次回の開催は令和4年10月下旬 ハイスこづち相談室にて開催予定。

6 閉会

令和4年度第4回 ハイス こづち運営推進会議報告書

開催日時	令和4年11月25日(金) 14時00分～15時00分
開催場所	ハイス こづち相談室
出席者 合計 5名	地域代表1名、学識経験者1名、包括支援センター職員1名、事務局2名
委嘱状の交付(新運営推進委員3名)	
1 定足数の確認 「ハイス こづち運営推進会議設置要綱」5(2)に則り、過半数を満たしているため開催する。	
2 開会 (事務局) 新型コロナウイルス感染症が広がりつつある。施設としても感染対策を講じていく。	
3 報告(ハイス こづち管理者)	
① 状況報告 (令和4年8月～令和4年9月) 資料(次第)の通り。 ・8月は新規利用者1名(要介護2)を受け入れている。週3回の通いと利用日以外(土日除く)は午前・午後の2回訪問サービスを利用。家族の状況変化により、通い利用が難しいことから、訪問サービスを主に利用される方がいたため訪問回数が増加した。 ・9月は新規利用者1名(要介護1)を受け入れている。週2回の通いと週2回の訪問サービスを利用。訪問サービスでは安否確認のほか、運動機能維持を目的とした歩行運動を実施している。 ・今期間では利用終了者が1名。他施設が決定して利用終了となる。また、新型コロナウイルスによる利用自粛もあった。利用者の中で、新型コロナウイルスに感染された利用者は1名のみで、利用自粛により他利用者、職員への感染は広がることはなかった。	
○意見 特になし。	
② 事故、ヒヤリハットの報告について 事故報告1件 帰宅送迎時に発生。自宅玄関先で転倒。外傷等なし。 ・原因 精神的に不安定になることもあり、体が拘縮することによるADLの低下がみられていた。職員も付き添っていたが支えることができなかった。 ・再発防止策 利用者の身体状況により車いす、歩行器の使用や、住宅改修により安全に移動が	

できるよう環境を整える。ご家族にも現在の状況を伝えご理解をいただく。

○意見 特になし。

③ 主な行事、レク活動の紹介

- ・ 8月 大槌町デイサービスセンターはまぎく合同土砂災害避難訓練を実施。(資料 2)
→次年度は避難先での受け入れ訓練を実施したいと意見が出ている。
- ・ 9月 令和 4 年度 敬老会実施。
→2 部構成 昼食の部とレク活動の部で開催した。

○意見

(事務局) 昼食メニューについて詳細を説明してほしい。

(管理者) メニューの詳細を説明。

(学識経験者) 土砂災害時の避難先は？

(管理者) 避難場所は中央公民館となる。

- ・ 大槌町デイサービスセンターはまぎく合同土砂災害避難訓練の詳細説明
別紙資料 2 の通り。

→前年度よりも災害備蓄品を厳選した。ハイスからも先発隊を配置し、先に物資を運んだ。

○意見

(学識経験者) 河川が増水し逃げ遅れた場合、どこから避難するのか？

(事務局) 緊急で高いところに避難が必要になる場合は大槌病院が有力であるが、決定事項ではない。

(地域代表) 町からの説明では、現時点では中央公民館が避難場所との回答だった。

(学識経験者) 大雨の際に小鎚川上流に避難したことがあるが、増水した川があるため危険を感じた。

(事務局) 避難先には他の住民も避難してきていることから、実際に持ってきた物資を展開できるかは不明である。車での避難も道路や橋で混雑することから、安全ではないこともある。

4 その他

- ・ 次回の開催予定について
→次回の開催は令和 4 年 12 月下旬 ハイスこづち相談室にて開催予定。

5 閉会

令和4年度第5回 ハイス こづち運営推進会議報告書

開催日時	令和5年2月24日(金) 15時00分～16時00分
開催場所	ハイス こづち相談室
出席者 合計 7名	地域代表1名、学識経験者1名、家族代表1名、包括支援センター職員1名、事務局3名
<p>1 委嘱状交付(令和4年12月1日付 新運営推進委員 1名に交付)</p> <p>2 運営推進会議について (管理者) 開催頻度について説明する。(概ね2か月に1回の開催) (事務局長) 開催目的について、地域の皆様から忌憚のない意見をいただき、より良い施設運営につなげていきたい。</p> <p>3 事務局、委員の自己紹介</p> <p>4 定足数の確認 「ハイス こづち運営推進会議設置要綱」5(2)に則り、過半数を満たしているため開催する。</p> <p>5 報告 令和4年10月～令和5年1月の利用状況について (1) 状況報告 (ハイス こづち管理者) 資料(次第)の通り。 (管理者) 令和4年10月～令和5年1月の新規利用者数、登録者、実利用者数、利用回数、登録率、傾向について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none">・10月は新規利用者の受け入れはなし。登録利用者2名が体調不良により入院となり、10月時点で利用者3名が入院中となる。・11月は新規利用者の受け入れはなし。利用者1名(要介護2)が他施設の入所が決定し、利用終了となる。10月から入院中の登録利用者3名は、引き続き入院中であり退院は未定となっている。・12月は新規利用者の受け入れはなし。利用者1名(要介護2)が他施設の入所が決定し、利用終了となる。また、長期入院されていた3名のうち、1名(要介護2)は他施設への入所が決定したため利用終了、2名は療養のため入院が継続となりハイスは利用終了となった。12月中で、4名の利用者が利用終了となった。・1月は新規利用者1名(要支援1)を受け入れた。施設見学と相談を重ねハイスを利用するこ	

とが決定する。週1回の通い利用から開始となる。

1/27に通い利用中の救急搬送が1件あり、入院にはならなかったものの体調に不安を抱えていたため、ご家族と相談を重ね、医療体制が整っている施設の利用が決定し利用終了となった。1月現在での登録率は55%まで減少した。

- ・介護度の割合は、要支援1は2名、要介護1は7名、要介護2～4は各2名。要介護1の利用者が多くを占めている。利用者数は減少傾向にあるが、相談は増えている。

○意見

(地域代表) これまでに登録者数が16名まで下がったことはあるか？

(管理者) 開所当初は登録利用者が少なく、ゆっくりであるが利用者が増え続けていた。令和4年度は登録利用者が横ばいで推移していたものの、新規施設や状態変化により他施設への入所が決定したことからの減少につながった。

(地域代表) 施設利用について、利用者は包括が区分けするのか？

(管理者) 包括や居宅介護支援事業所のケアマネジャーや家族から直接相談されることもある。

(事務局) ここに施設があることを知らない人もいると思われるため、当施設の広報をよろしくお願いしたい。

(地域代表) 登録率が60～70%でも利用者は足りないということか？

(管理者) 登録定員は29名まで受入れが可能なため、受け入れについてはまだ空きがある状態。家族の希望が利用のきっかけになることが多い。

(地域代表) 社協会報に施設の一覧を入れてはどうか？

(事務局) 地域に住み続けながら通い・訪問・泊まりのサービスを提供するという小規模多機能型に合った方に利用をつなげたい。

(2) 新型コロナウイルス感染症クラスターについて (資料参照)

① 施設内感染の概要

- ・令和4年12月28日、釜石保健所からクラスターの認定を受けた。
- ・感染が収束した令和5年1月9日まで、通いと訪問サービスを中止し、泊まりのみ稼働した。

② 対応

- ・陽性者生活場所のゾーニング、感染防護服の着用の徹底、洗濯物・生活ゴミの管理方法、消毒作業を徹底に努めた。

③ 再発防止に向けた対策

- ・利用者の健康チェックの徹底、迅速な初動対応、感染防護服の正しい着用法の確認、消耗品の管理、職員の健康管理を徹底する。

以上のことを運営推進委員に説明する。

○意見

(地域代表・学識経験者) 施設は集団生活だから大変だったと思われる。防護服の着用も含めて感

染対策等は業務量も増えてさらに大変だったのでは。

(管理者) 初動の遅れから、その間に感染が拡大していた。無症状の人もいて、熱の有無だけでは分からない。咳き込みは風邪と区別がつかなかった。

(利用者家族代表) 家族が感染して 2 週間家で介護したが大変だった。感染対策はマスクと毎日の洗濯、寝る部屋を離しただけだったが、幸いにも感染せずに済んだ。

(地域代表) 施設での集団感染は、弱者を預かっているため施設の宿命とも言える。

< 質疑応答 >

(地域代表) 重症者はいたのか？利用者はワクチンを打っていたのか？

(管理者) 幸いにも重症者はいなかった。持病のためワクチンを打てない利用者もいる。

(地域代表) 来月からマスクを着用が個人に委ねられるが？

(事務局) マスクの着用は個人の判断によるとされている。ウイルスの株が変われば感染の可能性があるとされている。

(3) 令和 4 年度利用者アンケート集計結果報告について

(管理者) アンケートの集計結果について報告する。

- ・施設でやってみたいこととして、前は「家庭菜園」は少なかったが今年度は 5 名が希望した。次回、プランターは利用者が生育状況を見に行きやすいテラスに設置したい。
- ・地域交流（お茶っこの会）を希望する方が 4 名いた。コロナが落ち着いたら企画したい。

< 質疑応答 >

(地域代表) 地域交流を企画するにあたり、準備するにも職員も大変だと思う。自治会主催のお茶っこの会はお茶のみから始まり、最後はカラオケを楽しむというもの。交流についても今後、協議したほうがよいか？

(事務局) 地域住民の力も借りながら、ハイスのテラスを使った足湯を活用して交流事業を企画したい。自治会主催のお茶っこの会を一度見学させてほしい。

→地域代表から、ハイス利用者と地域住民と一緒に交流できる事業を企画することの了承を得る。

○意見

(地域代表) 「6 職員の態度はいかがですか？」「7 職員は日頃の調子を気にかけてくれますか？」の質問項目への回答が「満足 93%」ということは、職員の態度がよいと解釈できる。これが大事なので言うことがない。

(4) 令和 4 年度第 1 回消防訓練について

(管理者) 令和 4 年 11 月 22 日（火）に実施した消防訓練について報告する。

○意見 特になし。

4 その他

- ・次回の開催予定について

(管理者) 次回の開催は令和5年3月23日(木)14:00～ハイスこづち相談室にて開催予定。

5 閉会

令和4年度第6回 ハイス こづち運営推進会議報告書

開催日時	令和5年3月23日(木) 14時00分～15時00分
開催場所	ハイス こづち相談室
出席者 合計 7名	地域代表1名、学識経験者1名、家族代表1名、包括支援センター職員1名、事務局3名
1 定足数の確認	<p>「ハイス こづち運営推進会議設置要綱」5(2)に則り、過半数を満たしているため開催する。</p>
2 開会	<p>(事務局) 3月13日以降、マスク着用は個人の判断となっていくが、施設においては引き続き感染対策は行っていく。</p>
3 報告 令和5年2月の利用状況について	<p>①状況報告 (ハイス こづち管理者)</p> <p>資料(次第)の通り。</p> <p>(管理者) 前回の運営推進会議では1月までの状況を報告したため、今回は2月のみの報告と説明する。</p> <ul style="list-style-type: none">・2月の新規利用者数は2名。要介護1と要介護2の方。要介護1の方は、週2回の通いと状態に応じて訪問サービスの利用も予定している。要介護2の方は、週1回の通いと週2回の訪問サービスを利用する。訪問では、安否確認と服薬確認を実施する。・2月の登録者数は17名、実利用者数17名、利用回数の通い177回、訪問97回、泊まり49回、登録率58%。新規利用者の受入れにより登録率は3%増加した。利用に向けた相談や包括から紹介があり、今後利用者は増える見込み。・介護度の割合は、要支援1の方は2名、要介護1は9名、要介護2～4は各2名。要介護1の利用者が多くを占める。 <p>○意見 特になし。</p> <p>②事故・ヒヤリハットの報告</p> <ul style="list-style-type: none">・2月はヒヤリハット・事故報告ともになし。・新規利用者が増えたことにより、利用者の状態に注意しながら受け入れをしている。・通いを利用していた方が初めて泊まりを利用するという方が多い月。見守りに注意しながらサービス提供をしている。

○意見

(利用者家族代表) 泊まりの利用者に上限はあるのか? 急な泊まり利用をお願いすることがあるの
で関心がある。

(管理者) 6名まで受け入れができる。開所してこれまでに上限の6名まで利用したことは2回程
あった。

(利用者家族代表) 利用者6名に対応する職員は1名のみか?

(管理者) 利用者の状態にもよるが、早番・遅番の職員を配置し、見守りの目を厚くして対応してい
る。

③各種行事、レク活動の紹介

・2月の節分は、玉入れと豆まきのコラボレーションとして、利用者が鬼役の職員に玉を当て、玄
関まで追い詰める方法をとった。利用者からは達成感もあり好評であった。

○意見 特になし。

4 その他

①ハイスの避難場所について

(地域代表) 津波発生時、ハイスはどこに避難するのか?

(管理者) ハザードマップの改訂により、ハイスは3メートル浸水する地域に指定されている。役
場よりクリーンセンターの手前の空き地が一時避難場所に指定されているため、緊急で避難する
必要がある場合は、指定避難場所に避難する。

②情報交換

(地域代表) 自治会の総会は4月23日(日)に昼食付で開催予定。去年は住民40名が参加した。5
分間程時間を設けるので、ハイスとはまぎくの管理者から施設の説明をしてはどうか。

(管理者) 施設の説明やPRができるため、ぜひ参加する方向で調整したいと思う。

(事務局) 最近、デイサービスセンターはまぎくの駐車場に外灯が整備され、周辺が明るくなっ
た。防犯対策の目的もあるが、はまぎくは福祉避難所の指定施設になっているため、明
かりを灯して住民に分かりやすいようにした。

(地域代表) 10月に自治会から町へ、津波・洪水・防犯対策について要望している。その結果、地
区内に外灯が二基設置された。

③次回の開催予定について

(管理者) 次回の開催は令和5年5月下旬14:00～ ハイスこづち相談室にて開催予定。

5 閉会